

クマネズミ

特徴と生態

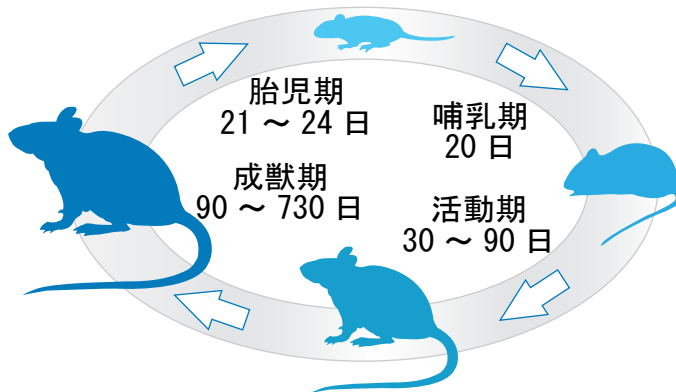


- 成獣…頭胴長：15～24 cm
尾長：頭胴長の約 1.1 倍位
体重：150g～200g
- 毛色…背面：褐色
腹面：黄褐色か白色のものが多い
- 耳を折るかえすと目を覆うほど大きいことが特徴で、建物の壁の内部や天井裏などの物陰で営巣しています。
食性は、雑食性だが、基本的に種子・穀物類の植物食を好みます。
繁殖は妊娠期間 21 日、産子数は 4 頭～6 頭で、生まれた子供は約 3～4 ヶ月で成獣（繁殖可能）となります。寿命は理想的な環境で約 3 年、平均では、1～2 年間でされています。関東では夏期に繁殖活動が盛んですが、ビル内は一年中温度が一定に保たれているため、冬でも繁殖することが可能です。

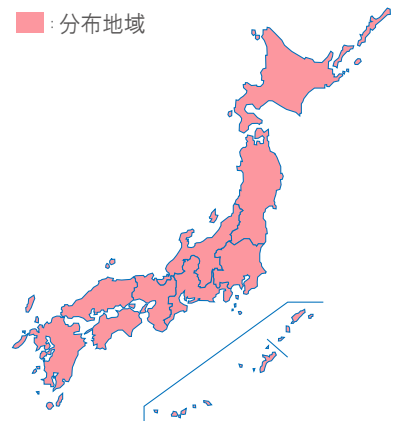
分布と発生場所

- 主な生息場所は市街地で、大型ビルや地下街、住宅の天井裏など、比較的乾燥したところで生活しています。伊豆諸島、小笠原諸島、南西諸島では、畑の周辺や森林内などでも見られ、半樹上性生活をするものもあります。

○ サイクル図



○ 分布図



○ 発生時期



被害

- ビルテナントや飲食店、スーパーなどでは人のいない夜中、陣列されている商品などを物色し、食い散らかす被害があります。また、農作物への被害や伝染病媒介などの衛生被害を引き起こす恐れもあります。

駆除

- 殺鼠剤に対する警戒心が強いいため、毒餌をあまり食べません。都市部では、強度の薬剤抵抗性種も多く生息しており、粘着シートなどのワナにもかかりにくいいため、独自で駆除することは困難です。専門業者に依頼することをお勧めします。